

宇都宮美術館  
友の会ニユース  
の森  
アート

第11号 2013・8



## 「つながり」つながる

今年も夏を告げるアーティチョークの花が7月に咲きました。青紫色の綺麗な花です。美術館、それは好きな美術展覧会の時だけ出かけて行って、館内の静寂の中どんな気持で何を訴えようとして創作したのかなどを考えながらゆっくりと見るのが好きでした。見方は順に見て回ります、それは美術館で展示する順序にも理由があるのだと思います。友の会と関わりのきっかけは、「友の会のお手伝いをしないか」と話があったことでした。好きな趣味を通して皆さんと出会えるのではないかと期待しました。友の会に関わって今は、幅広く芸術に出会えたこと、「美術館めぐりの旅」では行ったことのない美術館へ行けたこと、横須賀美術館での「谷内六郎表紙絵」展や、大谷石を敷石に使った「日本民芸館」などで展示作品、建物、景観も含めて心に残るものでした。美術講演会では作家水上勉の子息、長野県の夭折画家の美術館を作った窪島誠一郎氏の講演、文星芸大の林香君先生、大阪芸大の星笠恵子



先生、益子の陶芸家島田恭子先生の「生み出す喜び」作陶の苦労や喜びなど。音楽ではU-moaコンサートで心を癒し、本当に

今まで思いもつかなかった世界と出会えたと思っています。

広辞苑によると「つながり」とは、一つに「つながるもの」、絆・連携など、二つに「連なり続く」、三つに「つなぎ、継ぎめ」、何か混乱しそうだが、つまりは違うもの、あるいは同類のものを繋ぎ連なってゆるぎない基盤を作ることである。

私の役目は、その繋ぎ手としての美術館と友の会、会員同志、会員と芸術を愛する皆様、これらを繋ぐことであり、それが友の会の目的の一つではないかと思っています。東日本大震災の後のつながりや絆が重く感じられるようになりました。(友の会会長 青木紀一郎)

## 平成25年度定期総会

文化の森がまばゆい緑につつまれた5月18日宇都宮美術館講義室に於いて開催されました。青木会長の開会挨拶に続き、宇都宮美術館谷新館長の来賓ご挨拶をいただき議案審議に入りました。

議事「第1号～第4号議案」平成24年度事業報告、決算報告、平成25年度事業計画、事業予算、役員の変更が審議され承認されました。総会後の記念講演「平成25年度の宇都宮美術館企画展の概要」を谷館長より説明していただき、今後の企画展も大いに期待して下さいとのことでした。「宇都宮フルートオーケストラ」の皆さんによるU-moaコンサートのやさしい音色が森に響き魅了されました。



木苺(きいちご)

## 本年度事業計画

実施月日	事業内容	担当部
4月～6月	友の会ボードにおける作家紹介 掘井祐子氏(カリグラフィー作家)	発見部
5月5日	子どもフェスタin文化の森2013	共催
5月18日	平成25年度定期総会	総務部
7月7日	美術館めぐり(仙台方面)	事業部
8月	会報「アートの森」第11号発行	広報部
9月	U-moaコンサート	総務部
10月	美術講演会	発見部
11月	文化の森活動と観察会	総務部
11月	美術館めぐり(一泊旅行)	事業部
12月	クリスマスのタベ	事業部
平成26年 1月	会報「アートの森」第12号発行	広報部
2月	賛助法人との懇談会	総務部
3月	友の会ボードにおける作家紹介	発見部

会 長：青木紀一郎  
副会長：甘利知子 川上光枝 渡辺勝己  
監 事：石田毅 柴田紀恵  
総務部長：菅野明子 副部長：大野正勝 松林慎二  
事業部長：石塚豊 副部長：鈴木照子  
広報部長：平出晴夫 副部長：加藤眞美  
発見部長：宇賀神良行 副部長：亀井研一



## 子どもフェスタin文化の森2013

5月5日 共催 宇都宮美術館・友の会

どこまでも広がる五月晴れの空の下、今年も賑やかな開催となりました。木々の間を泳ぐこいのぼりは100匹。植物の話聞きながら森を散歩する人々、草の広場でのスケッチ大会、軽快なリズムに乗ってのフラダンス、会場にひびくブラスバンド。地域の方々手作りの生ソバ、ヤキソバ、赤飯に満腹。ミヤリーちゃんも加わり3500人以上の楽しい声がこだまする一日でした。 (広報部)



## 美術館たんけんたい

### 宇都宮美術館コレクションの巻

ふだん、初めての美術館を訪問するときには収蔵コレクションの展示に視点を置くようにしています。どの美術館にも「顔」ともいえる独自の収集テーマがあって、そこにはいつも新たな発見の出会いがあるからです。

宇都宮美術館には3つの柱があって、<生活と美術><地域と美術><環境と美術>の方針で現在6400点の作品を収集しています。生活と美術テーマの内容はデザイン、ポスターや西欧の家具調度、プロダクト・デザインで2500点ほど。地域と美術は世界と日本に大別され、世界の美術はさらに理念と構成の作家たちとしてパウハウスで教えたクレヤカンディンスキーなど、色彩と装飾の作家たちとしてデュフィやマティスそしてシャガールが収集されています。

さらに美術館の顔として、現代アートのみならずポスターやCMにも多大な影響を与えたマグリットの晩年の傑作「大家族」を収蔵しています。この作品はよく小中学校の美術の教科書に登場するばかりでなく、数年前に生まれ故郷のベルギーで開催された大回顧展では、彼の代表作として別格扱いの展示をされたそうです。

さて、最近美術館では半年以上の改修に伴って収蔵庫を150%に増やしています。新しい空間でこれからどんな作品に出会えるか楽しみです。その膨大なコレクションは、地下に収蔵されています。

天井にはさまざまなセンサーが据え付けられ、温度・湿度が一定に保たれるように設計されていて、デリケートな美術品を大切に保管中。万一火事が発生した時は、作品を痛めないように水ではなく、ガスで消火する設備もあるそうです。 (平出晴夫)

**表紙** ジョルジュ・ピゴール 《宇都宮 大軍事演習》 1893年 水彩ペン、鉛筆、紙 24.0×40.0cm (宇都宮美術館収蔵)

軍事演習は、当時の人々にとってイベント的な側面もあり、多くの見物客が訪れるものであったと言えます。それを示すかのように、ピゴールは《宇都宮 軍事演習を見物する人びと》という作品も残しています。諷刺挿絵のイメージが強い彼ですが、この作品では、外国人ジャーナリストとしての眼差しを見ることができそうです。 (学芸課 石川 賢)



## クリスマスの夕べ

すっかり葉を落とした樹木の中に佇む美術館から灯りが点在し、ロケーション抜群の中、12月8日(土)館内レストラン「ジョワ・デ・サンス」で開催されました。ゲストは「サルードゥ」のお二人で、南米ハープ「アルパ」とソプラノサクスの斬新な組み合わせは師走の喧騒から解放されて、癒された時間を堪能させてくれました。恒例のオークションは青木会長が創られたステンドグラスの作品を始め、沢山の出品に楽しいコメントを挿みながら盛況のうちに終わりました。(水垣俊子)



## 企画展のご案内

- ☆ 川端康成コレクションと東山魁夷  
9月22日(日)～11月4日(月・祝)
- ☆ 藤井達吉の全貌  
11月17日(日)～平成26年1月19日(日)
- ☆ 第4回宇都宮美術の現在展  
平成26年3月2日(日)～4月13日(日)



野薊 (のあざみ)

## 発見部の活動紹介

### 美しい文字・カリグラフィー



西洋書道とも呼ばれるカリグラフィー。今回は日本を代表するカリグラフィー作家のひとり、掘井祐子さんの作品を紹介しました。シンプルで清楚、時に凜としてロマンティック。ウィリアム・ブレイクの詩やペルシャのことわざ等から発想された作品の数々は、手仕事の魅力を伝えてくれます。フレンチ額装を学び、額装も手掛ける掘井作品は、まさに一点もの。創り手の温もりを感じるあたたかなひとときを、私達に届けてくれました。(青木ひろこ)

## 賛助法人会員との懇談会

2013年2月5日

友の会活動に多大なご支援をいただいている賛助法人会員の方々と懇談会が開かれました。11名の参加、「彫刻の力」展を鑑賞後、昼食を共にしながら和やかな時を過ごしました。(柴田紀恵)

## 会員加入状況

2013年7月24日現在 単位:人

一般会員	ペア会員	賛助個人会員	賛助法人会員	合計
333	155	25	23(口)	536

## 賛助法人会員

(株)西邑画廊 (株)三向地所 (株)昭和食品 (株)田村緑知苑  
(株)酒井建築設計事務所 中央電機通信(株) 環境整備(株)  
栃木実業(株) (有)マルワガラス (株)穴吹工務店宇都宮サービス会  
(株)日成メディカル 栃の木地所(株) 三信電工(株) (株)栃木銀行  
東亜警備保障(株) 宮ビルサービス(株) ランスタッド(株)宇都宮オフィス  
学校法人宇都宮美術学院 トヨタウッドユーホーム(株) (株)ケイエムシー  
栃木トヨタ自動車(株) (入会順)

## 編集ノート

こぶしの花から始まる美術館の春は墨絵の世界から緑鮮やかな風景へと移ります。四季の変化は静かで着実に美しく、様々な顔で迎えてくれて魅力的です。豊かな自然と美術作品、まさにアートの森です。幾度も足を運んで頂ければと思います。新鮮な出会いが待っていますよ。(水垣俊子)

<アートの森> 第11号 (通巻34号)

発行日 2013年8月23日  
発行 宇都宮美術館友の会(宇都宮美術館内)  
〒320-0004 宇都宮市長岡町1077  
☎028-643-0100